

## 令和3年度 事業実施報告（令和3年度 新規事業②）

WG名	飲食DXプロジェクト
WG構成員	(株)エクスペイン 代表取締役 松尾 貴久 他1名
モデル事業名	飲食店×DX
事業概要	コロナ禍により各業界が経済的ダメージを被ったが、中でも飲食業界への影響は顕著である。新しい生活様式を考慮しつつ、飲食店を利用してもらう仕組みを作る。
令和3年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において来店動機を高めるため、消費者に対してコロナ禍で行くか否か、客入状況を見て決断してもらえよう、消費者がWEBサイトから店の空室状況を確認し、席を予約するシステムの設計に取り組んだ。</li> <li>・基本設計をシステム導入候補飲食店の従業員に提示し、システムに対する要望や、実施可能な運用方法について聞き取りを行った。</li> <li>・現場の意見を集約し、実現可能なシステムに再設計した。</li> </ul>
令和3年度事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にシステムを設計してみることで、希望するシステムを構築するために必要な費用を知ることができた。</li> <li>・実際の店舗の声を聞取ることによって、運用にかかる課題を洗い出すことができた。</li> <li>・課題を整理したことで、費用を抑え、現場の負担を最小限にできるシステムを再設計することができた。</li> </ul>
令和4年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空室状況配信と予約が連動したシステムではなく、空室状況の配信に特化した簡易システムを構築する。</li> <li>・「何時現在空席あり」「現在何分待ち」など空席情報をリアルタイムで発信し、当日に発生した飲食需要に対応できるようにする。</li> <li>・当日の空室情報は、大手のインターネット広告会社のシステムにはないため、当該システムとの差別化を図ることができる。</li> <li>・システムを実際の店舗で運用を開始する。</li> <li>・多くのお客様に気軽に見て頂けるよう、Instagram等のSNSから誘導できるような仕組みを作る。</li> <li>・お客様の利便性、空席率の低減効果などを検証し、他の店舗でも導入を広げるためのPRを行う。</li> </ul>



ワーキンググループWEB会議の様子



飲食店従業員ヒアリングの様子